

学校評価書（令和3年度 保育園部）

令和4年3月3日

学校法人 浜松平和学園 平和こども園長 鈴木秀志
 学校法人 浜松平和学園 平和こども園 学校関係者評価委員長 原田 富子

1 こども園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」					
2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う 					
3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果					
※評価点は、4(十分に成果があった)3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。					
評価項目	園としての取り組み(観点)	自己評価点	こども園としての反省と改善策	学校関係者評価委員会評価点	学校関係者評価委員会の意見
① 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか ・指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ禍での行事であったが、それぞれの学年に合った時間・内容で実施し、子どもたちの成長した様子を保護者の方に見ていただくことができた。短い時間でも保護者に満足してもらえるように、更に内容を工夫していきたい。 ・年度当初に年間の保育計画を立案し日々の保育を進めているが、自己評価にとどまっている。毎週行うクラス内での話し合いの場で保育を振り返り、他者の意見を参考にして次の保育への課題を見つけていきたい。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が子どもたち一人一人を把握していると思う。保護者の方も、子どもたちの様子を見ていて、そのことがわかるからこそ、このようなアンケート結果になっていると思う。 ・外部の目から見て、パーフェクトではないか。教育方針に沿って保育をしていると思う。 ・アンケートの意見なども次年度に生かしてくれているのはうれしい。
② 保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個の発達にあわせた保育に心掛けたか ・基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか ・子供同士の心の通い合いを大切にできたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児は、個の発達の実態を捉えグループ保育を行ったが、より一人一人のリズムや成長に合わせた関わりを実現させるために、担当制のあり方を検討してみたい。 ・グループごと、少人数で活動している時は落ち着いて活動できるが、自由遊び等、クラス全体で活動する時にトラブルが起きやすいので、職員の配置に気を配っていきたい。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、紙の方が見やすかった。携帯だとアンケートすべてを見るができない。紙媒体でも質問はわけてほしい。 ・連絡帳を書いてくれる回数が増えたのはよかった。短い文でもバス登園で先生とあまり接触のない保護者は様子を知ることができるのでうれしい。 ・先生たちが他の子とのやり取りとか、細かいことまで伝えてくれている。ブログやYouTubeで様子が見れるのはうれしい。 ・毎日の送迎時に、担任ではない先生も声をかけてくれる。毎日安心して送り出せる。
③ 教師としての資質、能力、適正について	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか ・環境整備に気を配り適切に対処できたか ・係の一員として自分の力を発揮したか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、職員の資質向上として、研修で学んだことを生かすなど、各自の努力に任せてきた。今年度からは、具体的にピアノの演奏や読み聞かせ等、実際の保育に必要な実技のスキルアップを目指し、園内研修を取り入れていくことにした。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事は、他園より充実していると感じる。ポニー乗馬体験など、行事をやめた方が安全なのかも、楽なのかも思うことも子どものためにやってくれていると感じている。いろいろな工夫をしてくれていることに感謝している。
④ 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・園と家庭間の連絡に滞りがなかったか ・子供の社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時には積極的に声をかけ、子どもの成長を共有し、ともに喜んだり、相談にのったりして、信頼関係を深めるよう努めた。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果や保護者の皆さんの意見を聞いて、先生方と保護者の関係がいいことがわかる。その割に、先生たちの自己評価が低いのが気になる。先生たちが自信をもって保育を行えるといい。
⑤ 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や施設を活用できたか ・地域への開放や子育てへの支援ができたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方のご厚意で田んぼを自由に使わせていただき、稲刈り後の土の感触を味わいながら虫を見つけたり、蓮華の種をまいたりするなど、自然を通して季節の移り変わりを感じることができた。 ・子育て支援活動では、来園した親子の言葉に耳を傾け、心に寄り添って接することを心掛けた。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは先生に褒められると自信をもてる。ちょっとしたことでいいので、子どもたちを褒めることをしていってもらいたい。 ・先生たちの自己評価が低いのは、もっともっとよくしたいという向上心からきているのかなと思う。 ・以前より、保護者でこの会に来られている保護者の方はいつも感謝をされている。先生たちは自信をもってほしい。 ・コロナにかかった人を責める風潮にある。でも今は十分注意していても、どこにいてもかかってしまう危険性がある。もし、家族・近所・身の回りの人がかかったとしても、その人を思いやれる、優しい気持ちを育ててほしい。 ・コロナが怖いからといって、何もしないでいると前に進めない。対策などやれることはやることができることをやっていくのも大切ではないか。
⑥ 研究と修養	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを忘れず、保育力の向上に努めていたか ・各種研修会に参加し研修で得たものを園の保育等の実践に生かすことができたか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・園外研修では、園やクラスで生かせる知識・実技を学び、実践したり、アレンジを加えたりして保育の幅を広げることができた。 ・園内での研修報告会では、全員で集まることができないことや、参加者がいつも同じ顔触れになっていることが課題である。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナにかかった人を責める風潮にある。でも今は十分注意していても、どこにいてもかかってしまう危険性がある。もし、家族・近所・身の回りの人がかかったとしても、その人を思いやれる、優しい気持ちを育ててほしい。 ・コロナが怖いからといって、何もしないでいると前に進めない。対策などやれることはやることができることをやっていくのも大切ではないか。
⑦ 外部アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を真摯に受け止め、日々の保育の改善に生かしていきたい。また、今後の課題を見つけ、保育の質の向上に努めたい。 ・保護者の意見に耳を傾けながらも、園としての方針や信念は理解していただけるよう、心を通い合わせていきたい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・親の仕事の関係もあり、コロナ予防で子どもたちにも学校、こども園と家のみの行き来のみでの生活だったので、まん延防止措置が出ている中で、対策をして大変だったと思うが、お別れ遠足に行ってくれて本当によかった。